令和6年第1回産業建設常任委員会 要点記録

開閉会日時	令和6年2月14日（水曜日）			開会	10:00		会議場所	別海町議会 委員会室4	
				閉会	11:58				
委員の出欠	4番	伊勢 徹	欠席	5番	貞宗 拓雄	欠席	7番	横田 保江	出席
	11番	今西 和雄	出席	12番	松原 政勝	出席			
出席説明員	産業 振興部	産業振興部長		農政課長		商工観光課長		水産みどり課長	
		佐々木栄典	出席	皆川 学	出席	田畑 直樹	出席	小野 武史	出席
		商工観光課主幹		農政課主査		農政課主査		農政課主査	
		武田 妙子	出席	金澤 亮太	出席	西郷 博之	欠席	山下 真弘	欠席
		水産みどり課主査		水産みどり課主査		商工観光課主査			
		古里 達也	出席	岩光 信幸	出席	松本 芳樹	欠席		
	建設 水道部	建設水道部長		建設水道部次長		管理課長		事業課長	
		伊藤 一成	出席	外石 昭博	出席	松田 勝広	出席	佐竹 和仁	欠席
		上下水道課長		上下水道課技術長		建築住宅課主幹		事業課主幹	
		千葉 宏	出席	袴田 充輝	出席	篠田 敬介	出席	廣島 静治	欠席
		事業課主幹		上下水道課主幹		管理課主査		管理課主査	
		前道 陽司	欠席	福原 仁史	出席	木村 洋平	欠席	植松 拓也	出席
		建築住宅課主査		建築住宅課主査		事業課主査		上下水道課主任	
		大西 廣和	出席	伊井 崇史	出席	板垣 正博	欠席	皆川 好太郎	出席
	農業 委員会	農業委員会事務局長		農業委員会主幹		農業委員会主査			
		川畑 智明	欠席	大山 晋作	欠席	志度 正勝	欠席		
	委員外の出席	議長	西原 浩					合計	1名
	事務局職員	局長	干場 富夫					合計	1名
	傍聴者数	議員	0名	報道関係者	0名			合計	0名

令和6年第1回産業建設常任委員会 要点記録

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 11番 今西	10:00 開会
	出席委員3名、欠席委員2名（伊勢議員、貞宗議員）、委員外1名、会期1日
委員長 11番 今西	挨拶
	【産業振興部所管事務調査】
産業振興部長 佐々木	挨拶及び概要説明
委員長 11番 今西	議事1 所管事務調査について
	(1)酪農振興対策について
農政課主査 金澤	・農業分野における主な物価高騰対策について資料により説明 今後の対策については、現時点で決まっているものではないが、関係団体と連携を密にししながら、物価や生乳需給の状況、それから国や道の対策の状況などを注視しまして、必要に応じて検討してまいりたい。
委員長 11番 今西	質疑
委員 12番 松原	・12月補正について資料に記載しているが、これからつくられる対策事業ということになるのか。
農政課主査 金澤	・この事業については、良質な飼料生産維持拡大の取組について、北海道が定める取組メニューの中から一つ以上選択しなければならないとなっている。 詳細については省略するが、例えば、良質な飼料生産の拡大ということであれば、農家の作付面積を拡大するというなどの取組が該当になる。 令和5年度に実施していて、引き続き、令和6年度も取り組むということであれば、この交付対象になるというような形。
委員 7番 横田	・去年からでなければ対象にならないという事か。
農政課主査 金澤	・令和6年度から、先ほど申し上げたようなメニューを新たに取り組む方も対象としたというもの。
委員 12番 松原	・外国から入ってくる輸入飼料が高止まりして下がっていないだろうから、これから新しく地元で生産される、そういう飼料に対する補助金だということで理解していいか。 それとデントコーンや草も対象になるのか。
農政課主査 金澤	・取組メニューの一覧を上げさせてもらうが、一つは委員がおっしゃったようなサイレージ用トウモロコシの作付拡大という部分も含まれておりますし、例えば、その草地更新をやった農家も対象に含まれているので、そういったサイレージ用のデントコーンの作付ですとか、草地更新による牧草収量というようなものを対象にしているので、そういう取組は今後進んでいくものと考えている。
委員長 11番 今西	・国、道あるいは町を含めた中の酪農の支援対策ということで、十分に負担増の部分が賄えたのか把握しているか。
農政課課長 皆川	・しっかりとつかみ切れていない。 6月補正の段階で、大体120頭規模の農家で言うと、1頭当たり8,000円程度の水道代の減免で補填できたというような試算はしているが、それが全てこの高騰対策を見込んでいるのかどうかというところは検討できていない。
委員長 11番 今西	・主に生産資材の部分の高騰が大きな負担になっている部分で、数字的なことをしっかり掴まないと、次にする対策の部分が見えてこないのかなと。国、道なりはしっかりと押さえて、先ほど言われた町としての取組もその辺をしっかりと掴んでおかないと、どういう形でというのが出てこないのかなと感じたので。 今回は、町としては、減免が終わった時点で、その後については、今ところはっていう話

令和6年第1回産業建設常任委員会 要点記録

	<p>がありましたので、その辺もやっぱり今後の中で数値をしっかり掴んだ中での対策を考えていただけたらと思う。</p> <p>それともう1点。</p> <p>水道の減免は、酪農畜産ばかりだけでなく、全体で1億8,000万ということか。</p>
農政課課長 皆川	・営農分のみとなる。
委員長 11番 今西	(2)水産系副産物資源化施設の運営について
水産みどり課主査 岩光	・新たな処分方法について資料により説明。
	<p>償却予定の堆肥原料の一部については、屋外に堆積し水分を多く含み、焼却することが困難と予想されることから、焼却処分以外の処分方法を検討してきたところ。</p> <p>今般、堆肥原料を再処理し、再資源化する研究・検証が終わり、実用化の目途が立ったことから、次年度からは、焼却以外の処分についても実施したいと考えている。</p> <p>よって、次年度については、焼却による処分と新たな処分方法を併用し処分する予定であることから、今年度焼却できなかった部分については、次年度に上乘せし、当初の予定どおり令和7年には処理を終えたいと考えている。</p> <p>新たな処分方法については、まず、施設に堆積している肥料原料を受注者の処理施設へ運搬。</p> <p>運搬後、水分量が多い場合は、乾燥処理により水分調整を行い、次に、ふるいにかけて、大きさごとに分ける。</p> <p>粒子が2ミリ以上の発酵助材、水分調整材は前段の水分調整段階に戻され、2ミリ以下のものが、次の特殊溶出剤散布に進み、漏出防止措置を施したヤードで、溶出剤が散布され、堆肥に含まれている塩分、カドミウムの低減処理を行う。</p> <p>処理後は、乾燥処理を行い、処理終了。</p> <p>処理後の堆肥は、受注者が管理する圃場にて堆肥として利用。</p> <p>以上が、新しい最終処分方法となる。</p>
委員長 11番 今西	質疑
委員 7番 横田	・今の施設でやるのか。
水産みどり課主査 岩光	・今の施設ではなく、別の受注した業者が用意する施設で処理する形となる。
委員 7番 横田	・運んでという事か。
水産みどり課主査 岩光	・移動させます。
委員 12番 松原	・凄く進歩したと思う。
	<p>今までは焼却しかなかった。</p> <p>これ圃場にも使われるんですね。</p>
水産みどり課主査 岩光	・圃場で使う予定で考えている。
委員 12番 松原	・尾岱沼のあそこではなくて、全然別の所に持っていったのか。
水産みどり課主査 岩光	・受注者が用意するヤードというか、そういう施設で処理する予定になっているので、尾岱沼の施設からは運び出して処理するものと考えている。
委員 12番 松原	・今度は、カドミウムの数値をクリアできるということか。
水産みどり課主査 岩光	・回、再資源化しようとする研究・検証において、塩分とカドミウムを溶出させて、その後改めて土壌のカドミウム濃度を測定したところ、5ppmをはるかに下回る数値が実験段階では出てますので、一応、畑に撒いても問題ない数値としてクリアできている。
水産みどり課長 小野	・1点補足する。
	<p>基本的には、今までの肥料も基準値以下には押さえていたが、風評的な問題からなかなか利用されなくなった。</p> <p>今度は、さらにカドミウムをしっかり分離をさせて処理をすることによって、新たな堆肥と</p>

令和6年第1回産業建設常任委員会 要点記録

	<p>して利用することになるんですけど、恐らくそれは一般的に販売とかということよりは、試験的に今回は発注先のところが持つ圃場に撒くという形になると思う。</p> <p>草地というよりは、ひまわり畑のようなところだとか、そういった形の中であるべく影響のないところに撒くのではないかと考えているが、将来的には、それがしっかり肥料として問題がなければ、それはそれで販売するというのも再資源化として考えることはあるのかなと考えている。</p>
委員 12番 松原	<ul style="list-style-type: none"> ・実験をやっているのは、今までの堆積していた仕掛品の話なんですね。新しく加工業者からあがってくるものは、別の話なんですね。
水産みどり課長 小野	<ul style="list-style-type: none"> ・今日、説明したのは、堆積している仕掛品の話になり、新たなホタテウロに関しては、委員御承知のとおり、今は紋別に運搬して処理している。 <p>これもいつかはしっかりとるべく町内で処理できるようにしなければならないというところで、そのホタテウロをしっかりと処理するための研究は、次年度において行う予定。</p>
委員 7番 横田	<ul style="list-style-type: none"> ・処理に関して、運ぶ場所はどこになるのか。
水産みどり課長 小野	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度の予算の話なので、今具体的に申し上げることはできない。 <p>現在、研究を行っている業者は、町内の廃棄物を処理できる業者が実施している。</p>
委員長 11番 今西	<ul style="list-style-type: none"> ・仕掛品の処分については、焼却、新しい手法、紋別への運搬の3つで行うという理解でいいか。
水産みどり課主査 岩光	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、焼却を進めてきたところについては、新たな処分方法を併用しつつ、焼却処分も実施する。 <p>新たに発生するウロの部分については、新たに研究を行っていくという形だが、方法が確立されるまでは、紋別の方で処理する形となる。</p>
委員長 11番 今西	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、処理に取り組む中で、予期せぬことが起こった対応について、責任体制とかも含め、受注業者との話し合いの方向を確認したい。
水産みどり課長 小野	<ul style="list-style-type: none"> ・町の施設として、全体のことも考えながら、今後、将来の方向性も考えながら、しっかりと管理していく考えていますので、今後もしっかりその辺は対処してまいりたい。
委員長 11番 今西	<ul style="list-style-type: none"> ・確認だが、新しく取り組むところの施設についても同じ考え方で対応するっていうふうに理解していいか。
水産みどり課長 小野	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には、一般廃棄物として運搬をして処理をする形になるので、その処理については、農林水産省のガイドラインに基づいて、町としてもしっかりと管理していく。
委員長 11番 今西	<p>(3)中小企業等支援対策について</p>
商工観光課主幹 小野	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度から実施する別海町中小企業人材確保・育成事業について資料により説明。
委員長 11番 今西	<p>質疑</p>
委員 7番 横田	<ul style="list-style-type: none"> ・財源で、ふるさと納税や過疎債は永久的なものではないが、その辺りはどのように考えているのか。
商工観光課長 田畑	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税が終わったからといって、基金がなくなるわけではないので、当面の間は問題ないと考えている。 <p>就職奨励金については、ふるさと応援基金の繰入金は80%充当しまして、20%は一般財源という形になっている。</p> <p>奨学金返還支援金については、今、過疎地域指定されているので、50%充当で一般財源が50%となっているが、過疎地域が離れても移住定住の支援策がありまして、30%については特別交付税ということになるので、一般財源70%の負担で運用していきたいと考えている。</p>
委員長 11番 今西	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の中で、検証していく上で企業との連携が不可欠であると書いてあるが、事業を

令和6年第1回産業建設常任委員会 要点記録

	<p>取り組むに当たっては、企業等からの要望も含めた対応でこういう事業ができたという理解でいいか。</p>
商工観光課長 田畑	<ul style="list-style-type: none"> ・企業からというよりは、商工会からの要請もありますけれども、人材確保、担い手育成の関係で、今までやってきた施策については続けてほしいということ、新しく何かを考えていただきたいということは毎年上がっている。 <p>商工会の方もいろいろ考えていると思うが、町としては過疎地域になったことや奨学金についても、庁舎内で検討した結果、償還はどここの地域にもしなければならぬが、別海町を就職先を選んでいただく、もしくはUターンで帰っていただくということであれば、給付型奨学金とイコールになるというようなメリットを打ち出して、担い手確保を目指したいという町側からの施策提案となっている。</p>
委員長 11番 今西	<ul style="list-style-type: none"> ・この施策の効果をどのように検証してというのは、町商工会とも連携が不可欠という意味合いですね。 <p>この制度を活用してもらうための連携がね、その部分をどういふふうにフォローしていくかということが大きな課題かなと捉えているので、今後、どういふふうに具体的に対応しているのか。</p>
商工観光課長 田畑	<ul style="list-style-type: none"> ・第一義的に、日本国を支えているのは中小企業だということは大前提としてある。 <p>皆さん営業行為をやっておりますので、自分の会社の資産価値を高めながら未来永劫継続していくという経済活動していくというのは絶対的にある。</p> <p>そちらに対してのお手伝いというのは、なかなか町としてはできない。</p> <p>それぞれの経営理念がありますので、そちら一辺倒に一律に支援することはできないと思う。</p> <p>ただ、前から町長が言うように、そういう方々の下支えというか、どうやって応援できるかっていうふうに考えた場合に、企業さんを応援するような形で、就職したりU I Jターンで地元に入って移住定住したりということを支えるところは町頑張るってやりたいと思う。</p> <p>それを企業の経営者に理解をしていただき、連携を図りながら企業が継続どころから大きくなっていくということが根本にある。</p>
委員長 11番 今西	<p>議事2 その他</p>
	<p>(1) 別海町鳥獣被害防止計画について</p>
水産みどり課主査 古里	<ul style="list-style-type: none"> ・資料により説明
委員長 11番 今西	<ul style="list-style-type: none"> ・報告内容で、確認したいことなどあるか。 <p>この計画は水産みどり課所管ということでもいいのか。</p>
水産みどり課長 小野	<ul style="list-style-type: none"> ・4月以降について説明するのは難しいが、所管課がしっかりと計画を引き継ぎながら進めていく。 <p>現状では、所管課として計画をしっかりと管理していく。</p>
委員 12番 松原	<ul style="list-style-type: none"> ・トド、アザラシ類の被害対策について、アザラシは年々増えているので、町として真剣に取り組んでもらいたい。
水産みどり課主査 古里	<ul style="list-style-type: none"> ・アザラシについては、年に1回道の方で会議があるので、働きかけをしていきたい。
水産みどり課長 小野	<ul style="list-style-type: none"> ・国も道もアザラシの被害が増えていることは承知しており、今後、なるべく捕獲していく形で進んでいくのではないかと考えている。 <p>町としても、被害が減少するよう各関係機関に働きかけていく。</p>
委員長 11番 今西	<ul style="list-style-type: none"> ・他に何かあるか。
委員 一同	<ul style="list-style-type: none"> ・なし
委員長 11番 今西	<p>産業振興部 11:11 終了 休憩</p>
委員長 11番 今西	<p>11:15再開 委員長挨拶</p>

令和6年第1回産業建設常任委員会 要点記録

		【建設水道部所管事務調査】
建設水道部長	伊藤	挨拶及び概要説明
委員長	11番 今西	議事1 所管事務調査について
		(4)除雪について
管理課長	松田	・資料により説明。
		1月末現在で、約5,000万円の予算残額となっており、2月以降の除雪費が過去10年間で約6,400万円かかっていることから、3月定例会で1,500万円の補正予算を提出する予定。
委員長	11番 今西	質疑
		・公的施設なんかでも、冬期間に避難場になっているところかについては、優先ではないけども町道と同じような対応でやっていただいているということで理解していいか。
管理課長	松田	・公共施設と駐車場に関しては、あくまでも道路を優先するので、道路が終了してから公共施設に入る。
		警報や注意報が発表された時に、避難所として開設された場合には除雪に入る。
委員長	11番 今西	・他に何かあるか。
委員	一同	・なし
委員長	11番 今西	(5)空き家等対策について
建設水道次長	外石	・資料により説明。
委員長	11番 今西	質疑
委員	12番 松原	・空き家相談会はいつ開催か。
建設水道次長	外石	・次の日曜日の18日。
委員	12番 松原	・対象は別海町の市街地に空き家を持っている方か。
建設水道次長	外石	・そのとおり。
委員長	11番 今西	・空き家実態調査の194件の中に、町有の住宅は含まれていないのか。
建設水道次長	外石	・含まれている。
委員長	11番 今西	・他に何かあるか。
委員	一同	・なし
委員長	11番 今西	(6)上下水道事業の経営等について
上下水道課長	千葉	・資料により説明。
委員長	11番 今西	質疑
委員	12番 松原	・災害が起きた場合には、下水管も壊れることがあるんでしょ。
建設水道次長	外石	・下水管についても、被災を受ければ管やマンホールが浮上したりすることで、流下能力が失われることになる。
委員長	11番 今西	・下水の適正処理、下水道施設の整備ということで、いろんな下水道施設を毎年計画的に改修しているようだが、それぞれの施設はかなり古い印象もあるが、そういった施設を含めてという事か。
上下水道課長	千葉	・計画的に設置して、状況によっては更新して維持管理をしていくという形で対応することとしている。
委員長	11番 今西	・以前、し尿処理施設との兼ね合いということも出たりしたけど、その部分の接点というのは今回の計画の中での議論には入っていないのか。
上下水道課長	千葉	・計画には入っていない。
委員長	11番 今西	・他に何かあるか。
建設水道次長	外石	・なし
委員長	11番 今西	閉会挨拶

令和6年第1回産業建設常任委員会 要点記録

委員長 11番 今西 | 11:58 閉会